

動物に関する慣用句

犬
犬の遠ぼえ
犬も食わない
ねこ
ねこに小判
ねこの手も借りたい
ねこの額
ねこも杓子も
ねこをかぶる
馬
馬があう
馬があらう

生き馬の目をぬく
しり馬にのる
馬脚をあらわす
鳥
鳥はだがたつ
飛ぶ鳥をおとす
うのみにする
おうむ返し
からすの行水
すずめの涙
鶴の一声

魚
うなぎのぼり
うなぎの寝どこ
さばをよむ
とどのつまり
虫
虫がいい
虫のいどころが悪い
ありのはい出るすきもない
あぶはちとらず
蚊の鳴くような声

芝居に関する慣用句

芝居をうつ
ひのき舞台に出る
のべつ幕なし
幕がおりる
幕があがる
脚光をあびる
板につく
役者がそろう
出る幕ではない
二の舞を演じる
見栄を切る

自然に関する慣用句

あとは野となれ山となれ
雲泥の差
風上におけない
かみなりが落ちる
草木もなびく
草の根分けても
雲行きがあやしい
彗星のごとく
台風の目
月とすっぽん
雲をつかむよう
どこ吹く風
波風をたてる
波にのる
薄氷をふむ
光を放つ
火がつく
火花を散らす
ほのおを燃やす
氷山の一角
風雪にたえる
水に流す
水のあわになる
水をさす
山があたる
山場をむかえる
山をはる

江戸に関する慣用句

勝つてはまたまた
太刀打ちしない
かまふやうな
しのめやうな
つばきつな
江戸直入
外へ出る
不意に
立ち往生
名乗る
のりこ
普水の陣